



復興支援

長田 忠広

**問** 公明党は復興なくして再生なしとの思いで人間の復興を目指している。次世代を担う子どもたちを含む「健康」及び「心のケア」の支援を進めることが必要と考えるが決意を伺う。

**副市長** 被災者支援は、被災者健康生活支援を目標にサポートセンターや関係機関と連携をした支援を行っています。

また、心のケアは「みやぎ心のケアセンター」の支援をいただき、専門スタッフによる被災者への訪問活動など、支援業務を重点的に携わっていただいています。

今後も、おのおのの再建がなされるまで被災者一人一人に寄り添い、支援を継続していくとともに、子どもたちについても、教育委員会と連携をして支援を行っていきたいと考えます。

パークゴルフ場の整備を

**問** 買い取り土地の有効活用では介護予防の一環としてパークゴルフ場、ゲートボール場等の整備が必要と考えるが見解を伺う。

**副市長** 移転元地の活用は、パークゴルフ場などの整備について、議員はじめ市民の多くの方から要望をいただいています。しかし、まだ復興途中であり、今後の土地利用計画の中でその可能性を探っていきたいと思います。

**問** いづごろまでを目標とするのか。今の段階でどのような予定なのか。

**副市長** 何をやるにも財源が必要になりますので、復興交付金を使ってできるかという部分の検討が重要と考えます。

**問** 市民の皆さんは方向性を待っている。市長の決意を伺う。

**市長** 財源を確保しようというところで前向きに取り組んでいます。が、もう少し財源の精査をさせていただき、判断したいと思えます。

◎その他の一般質問

- ・ 地方創生
- ・ 障害者支援



岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

佐藤 一郎

**問** 「新しいひとの流れをつくる」ための具体的な施策として子育て支援施策をどのように考えているのか。

**健康福祉部長** 総合戦略の基本目標は結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業です。結婚、出産への支援は子育て世代包括支援センター事業、予防接種の助成事業等を推進していきます。地域の中で子ども・子育ての充実として、地域子育て支援センター、ファミリーサポートセンターでの事業と子育てしやすい環境づくりに取り組む、新たな定住者の確保に向けて積極的に情報提供を行います。

**問** 新婚世帯、Uターン者等の定住支援策の推進とあるが、どのような考えがあるのか。

**総務部長** 例えば市内の不動産会社などの協力をいただき、市のホームページ上で市内の空き家等の情報提供や、空き家のリノベーションを支援する取り組みを検討中です。

魅力アップで若者帰郷を

**問** データでは、15歳から24歳は岩沼市から出て行き、20歳から29歳は戻っている。若者がUターンする魅力ある新しい政策が必要だと思いがどうか。

**総務部参事** 岩沼に転入された方にアンケート調査を行いました。転入の主な理由としては、親がいる、親族がいるとの回答が多いようです。今後、転入の理由を分析した上で施策を考えたいと思えます。

**問** 結婚・出産における経済的な負担の軽減とあるが、どのように考えていくのか。

**健康福祉部長** 出産に関しては、妊婦健康診査の公費負担、特定不妊治療に対する助成、また、妊娠期のつわり等による歯周病の予防策として妊婦歯科健診検査費用の助成等を行い、経済的な負担の軽減を図っていきたいと思えます。

**?** リノベーションは既存の建物を大規模改装し、新しい価値を加えること。